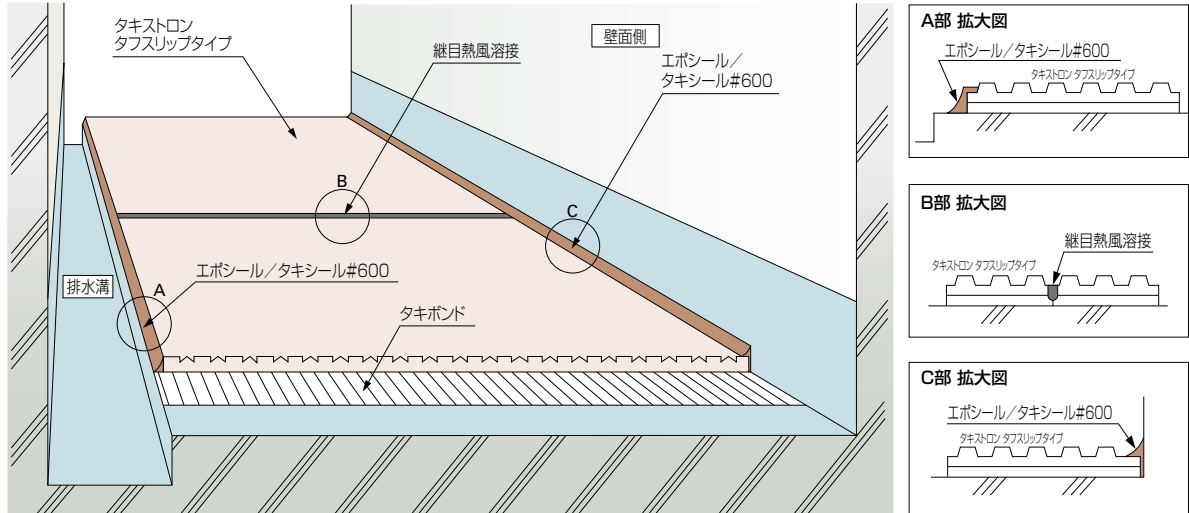


タキストロン タフスリップタイプ マンション用 耐水・特殊耐水工法

タキストロン タフスリップタイプ マンション用は、マンションの開放廊下、バルコニー、屋上、階段など過酷な屋外での使用にも耐えるすぐれた耐久性を持つ床材です。タキロンでは、この特長を最大限に生かす優れた専用接着剤、副資材、工法を開発。独自の耐水、特殊耐水工法を確立し、数多くの実績をもっています。

耐水・特殊耐水工法の概略

タキストロン標準納まり図 (マンション開放廊下の場合)



※標準納まり図はイメージであり、実際の納まりとは異なる場合があります。

工法と接着剤・副資材選定表

工法	用途	下地	接着剤	継目処理材	端部処理材
耐水工法	開放廊下・ベランダなどの直接雨がかりのない場所	吸水下地・非吸水性下地	タキボンド#607	床溶接棒	エポシール タキシール#600
特殊耐水工法	屋根のない開放廊下・屋上・ルーフバルコニーなどの完全屋外	非吸水性下地 (全面塗膜防水下地など)	タキボンド#607 タキボンド#601	床溶接棒	エポシール タキシール#600
		吸水性下地 (モルタル下地など)	タキボンド#601	床溶接棒	エポシール

排水溝、壁側にウレタン系塗膜防水材料を併用する場合は、下記にご確認ください。

- 注1) ウレタン系塗膜防水材下地の場合は、トップコートの種類によって副資材の選定が異なりますので、営業担当者への確認をしてください。
- 注2) 接着剤の選定は、ウレタン系塗膜防水材の種類によって、本来の接着強度が発揮できない場合がありますので、営業担当者への確認をしてください。

継目処理

溶接工法

床材の継目部は隙間なく仕上げ、U字型に溝を切り、タキストロン床溶接棒を熱風溶接機を用い、溶融しながら断面を熱風溶接します。

専用端部処理工法

排水溝、壁際などの端部からの水の浸入を防止し、床材のめくれ、剥がれを防ぐために、耐水性にすぐれた"エポシール/タキシール#600"で端部処理を行います。なお、ウレタン系塗膜防水材で、フッ素系トップコートを施された下地の端部処理にはタキシール#600を使用してください。

